



MONTHLY NEWS

京都画廊連合会ニュース

THE KYOTO GALLERIES FEDERATION OF ARTS

2013
10月号
No.462

映画をめぐる美術

—マルセル・ブロータースから始める

と き／9月7日(土)～10月27日(日) 10:00AM～5:00PM

ところ／京都国立近代美術館 (祝日以外の月曜と10/15休館)
京都市左京区岡崎公園内 ☎075-771-4111

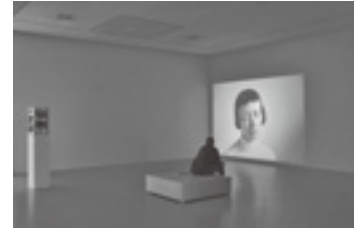
詩人として出発したベルギー出身の芸術家マルセル・ブロータース(1924-1976)は、1964年頃から美術の領域に身を置き、言語とイメージの関係を扱ったオブジェや写真・短編映画の制作、また公開書簡や出版などの著述活動、さらに美術を取り巻く権威や制度を批判的に検証する虚構性に満ちたプロジェクトなど幅広い創作活動を展開し、戦後美術の転換期に大きな足跡を残した。



やなぎみわ《GLORIA & LEON》2004年

1990年代以降の美術動向を理解する上でも、有効な手がかりとなるように思える。本展では、ブロータースによる映画に関するテキストやプロジェクトを参照軸とし、そこから引き出される5つのテーマに即して、国際的に活躍する美術家13名のフィルム、写真、ビデオ、インスタレーション等の作品により、映画をめぐる美術家の多様な実践を紹介している。

ブロータースが映画を「書く」ための方法として位置づけたことは、これまで「見る」ことへ主に意識を傾けてきた映像表現に対して「読む」という視点を改めて強調したものだ。ブロータースの実践は、後進の世代の美術家たちに大きな影響を与えて続けており、特に写真やビデオ、インスタレーションの手法を用いた表現が急増した



アナ・トーフ《偽った嘘について》2000年
(アントワープ現代美術館での展示風景、2007年)

近代日本画の巨人 竹内栖鳳展

と き／10月22日(火)～12月1日(日) 9:30AM～5:00PM

ところ／京都市美術館 (祝日以外の月曜休館)
京都市左京区岡崎公園内 ☎075-771-4107

幕末の京都に生まれ、明治・大正・昭和に亘り近代日本画史の礎を築いた竹内栖鳳(1864=元治元～1942=昭和17)の過去最大規模となる回顧展である。四条派の幸野樸嶺に学び、1900(明治33)年のパリ万博を機に渡欧した後は、西洋での知見をもとに従来の絵画を見直し、毀誉褒貶を乗り越えて新しい日本画を生み出そうとした。大勢の門下生の中からは上村松園、西山翠嶂、西村五雲、土田麦僊、小野竹喬ら逸材を輩出し、国画創作協会展発足の後ろ盾にもなった。

かつて「東の大観、西の栖鳳」と並び称された巨匠だったが、横山大観に比して竹内栖鳳の回顧の機会はあまり多くなかった。本展では、最初期の作品から最晩年の代表作まで、これまであまり展覧会などで目に触れる機会の少なかった貴重な作品をも全国から集め、一堂に展示することにより、今、京都の巨星を見直そうとする。



「羅馬(ローマ)之図」 1905(明治36)年 (海の見える杜美術館蔵 10/22～11/10展示)

会場	日曜	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31																														
		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111		映画をめぐる美術—マルセル・ブロータースから始める																														
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151		10/11まで全館休館															特別展覧会「魅惑の清朝陶磁」															
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	祇園祭—綾傘鉦の名宝—(～10/14) 京都府コレクション 池大雅(～11/4)															近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝3(～10/27) 祇園祭—古出山の名宝—(10/18～1/5)															
	3F	京都文化博物館開館25周年記念 京都府立総合資料館50周年記念 京都・美のタイムカプセル																														
	4F																															
	5F	第16回 回展	絵更紗 美術協会 会員作品 展	群言堂 2014年 春夏物展示会	第30回龍雲会 書道展	関西創玄書道会 創立40周年記念 書展	京の名工展 —京都府伝統産業 優秀技術者作品展— 【併催】 ～未来に継ぐ伝統産業～ 若手職人「京もの認定工芸士」作品展	写人 京都純職 芸術大学短期 大学部 イラスト レーション OG・OB展																								
	6F	第3回 絲織会 吉田手織工房	第3回 講演 音楽 会	アトリエスノーホワイト デコラティブペイント員	音楽 会	イベント	第16回 竹心展	京都シニア 大学 学園文化祭	井室雅夫 画業40周年記念展	TMA琳派 重岡良子展																						
別館						音楽 会																										

会場		日曜	1火	2水	3木	4金	5土	6日	7月	8火	9水	10木	11金	12土	13日	14月	15火	16水	17木	18金	19土	20日	21月	22火	23水	24木	25金	26土	27日	28月	29火	30水	31木
京都市美術館 左京区岡崎公園内 771-4107	本館	再興 第98回 院展京都展															京都市美術館開館80周年記念展 下絵を読み解く～竹内栖鳳の下絵と素描										→12/1						
		第32回 ザ・スペース展	第38回 グッドアート展				第49回 主体展														→12/1												
	別館	第32回 汎具象展	第34回 美工作品展				新制作展										京都市美術館開館80周年記念 竹内栖鳳展 近代日本画の巨人					→12/1											
		第26回 国創展	染と写真の文化交流展 新美2013会員展				第29回 文化書道 近畿連合会展				第42回 新作能面展 現代美術工芸展				京都芸術 祭国際交 流総合展			→11/3															
京都府立 文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F	第41回 京水会 丹青展 (洋画)				2013青美秋季展 (美術総合)				7人の絵画展 (洋画)				ハクの会 作家展			→11/3																
	2F	JISSO展 (洋画)				第18回 日本画展きら				算会書展				京阪滋 大洋会展 (洋画)			第一美術 関西展			→11/3													
	3F	みんなの アトリエ水彩 展				草春会 能面展														→11/24													
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007	展示替えのため休館				特別企画展 女性が描いた昭和のエレガンスー梶原緋佐子・廣田多津・三谷十糸子・北沢英月ー										印象作品ができるまでー「春」「婦女」「或る家族」ー										→11/24								
何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311	一瞬と永遠の劇場ー Elliott Erwitt展																																→11/24
高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	廃墟、室内、めだま焼き。 桜井寛展 (洋画)				十四代今泉今右衛門展 (陶芸)				新谷一郎彫刻展 青洲会日本画展 ～標(しるべ)～				福井江太郎展 (日本画) 木具師三代橋村萬象展				安永元典展 (洋画) 市川博一 作陶展			→11/5												
	グラント ホール	第60回 日本伝統工芸展				第31回 京都新聞 チャリティー美術 作品展				土門拳 展			→11/10																				
大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	藤田佳三作陶展 信楽 篠原希作陶展				～色彩の詩人～ マークエステル絵画展				～からまる～ 楠堂葵 水彩画展				七世松月幸寿記念 吉向松月父子茶陶展				アポ ロト ップ 展ス			→11/5												
	ミュー ジウム	休館																															
中信美術館 上京区下立売油小路東入 417-2323	京都工芸の精華展																休館																→11/5
並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277	開館10周年記念 秋季特別展 「七宝ー手のひらの宇宙」																																→12/15
美術館「えき」KYOTO JR京都伊勢丹7F 352-1111	バラミタミュージアム所蔵 棟方志功 幻の肉筆画展																藤田嗣治 渡仏100周年記念 フジタとパリ																→12/1
会場	日曜	1火	2水	3木	4金	5土	6日	7月	8火	9水	10木	11金	12土	13日	14月	15火	16水	17木	18金	19土	20日	21月	22火	23水	24木	25金	26土	27日	28月	29火	30水	31木	
アートギャラリー北野 中京区三条河原町東入 221-5397	西山喬展				松田真理子展				37回サンデーサークル 展				奥村圭子展				勝彩会&ドガ 教室作品展 浅葱会 グループ展			→11/3													
アーツスペース虹 三条蹴上都市ホテル隣 761-9238	野村誠展 「オルガニック・ベジタブル」				今村遠佑 (インスタレーション) (月曜休廊)												山本知佐 (木版画)				トーマスシュルツ (サウンドインスタ レーション)			→11/10									
アーツスペース東山 東山区三条神宮道東入 751-1830	陶と絵画の二人展 山田修作・相見節子				京都現代美術研究所 グループ展				絵画 吉田友幸				Group bulb Exhibition				石田秋次 個展 (彫刻)			→11/3													
Art Spece MEISEI 中京区寺町竹屋町上ル 744-0122	高木聡遺作展 (洋画)				女子美大同窓会京都 支部展～つなぐ～				丹波美代子絵画展 気のむくまに…				仏を描く (日本画)				麻田博子 洋画展			→11/3													
アートギャラリー博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401	植田昌明作品展 (月曜休廊)																懐かしのExhibitionチケット展Ⅱ (月曜休廊) 高木唯可ポストカード展 (月曜休廊)																→11/3
イムラ・アート・ギャラリー 左京区丸太町川端東入 761-7372	英 ゆう個展																																→11/3
一心堂画廊 中京区烏丸通六角下ル 211-1013	日本画・洋画常設展																																→11/3
芸艸堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613	木版画常設展 (貸画廊受付中)																																→11/3
絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137	常設展																																→11/3
延寿堂ギャラリーソフォラ 中京区二条寺町東入 211-5552	長谷川美穂展 - 灰釉 - (木曜休廊)																荒賀文成 - 粉引 - (木曜休廊)								→11/3								
御池画廊 北区小山上総町20-2 492-3083	洋画/日本画常設展 (日祝休廊)																																→11/3
カギムラ画廊 中京区河原町四条上ル東入 221-2996	常設展																秋野不矩・浅野 均・川端健生 小池一範・小嶋悠司・中野弘彦																→11/3
画廊おかざき 左京区岡崎神宮道西側 761-0027	現代工芸作家常設展																																→11/3
画廊きよみず 東山区清水五条坂 525-2062	日本画常設展																																→11/3

Ⓔ: 企画および常設を中心に活動する画廊 Ⓕ: 貸画廊

ジェラルド・サンドレイの〈率直な創造〉

と き／9月21日(土)～10月13日(日) 1：00PM～7：00PM
ところ／ギャラリー宮脇 (月曜休廊)
京都市中京区寺町通二条上ル東側 ☎075-231-2321

ジェラルド・サンドレイ (Gérard Sendrey) は1928年フランス、ポルドー生まれ。自称「非」芸術家にして真に自由なる創造者。何にも束縛されない個人の率直な創作を自ら実践し、創造についての革新的アイデア〈クレアシオン・フランシュ〉を提唱した。デュビュッフェ亡き後のアヴァンギャルドの最もマージナルな領域を渉猟する牽引者として重要な存在である。その創作は過去との発展的決別を基盤に据えている。

自動記述のようにして描かれる多くのデッサンでは、作者の内奥に湧き出し流れ、ついには外部に噴出するマグマのような不定の形象、あるいは身体の振動と痙攣によって繰り出される蜘蛛の糸のような線条から、驚くべき幻視のイメージが立ち現れる。そこには何かを描こうという目的はなく、いかにしてイメージの生起する「場」を創造するかという探求の道程がある。

本展は欧米で著名な作者の日本初個展。多種多様な作品120点以上を集め紹介する。



〔横顔の群像〕2004年
紙・アクリル 38×27.5cm

記念図書刊行『率直な創造 クレアシオン・フランシュ』

書き下ろし含む本邦初訳のサンドレイによる論集。アール・ブリュットを超え現代美術に對峙する新しい時代の生の芸術を唱道する。B6判、144頁、ハードカバー、モノクロ挿画60点、会場にて販売
通販可／書店取扱は10月中旬予定 ISBN 978-4-9902435-6-2
ギャラリー宮脇刊 (本体予価2,700円)



〔レダと白鳥ボート〕
2013年
紙・インク 32×24cm



〔煮えたぎる古生物の雑種〕
2002年
紙・墨 42×29.5cm

10人の作家展

7 Chinese Artists + 3 Japanese Artists

と き／9月28日(土)～10月27日(日) 12：00～6：00PM
ところ／ギャラリー三条祇園 (月・火 休み)
京都市中京区寺町通御池上ル トミタヤビル 2F ☎075-221-6401

アジアの画廊間ネットワーク作りの一環として、日中作家の交換展という新企画を立ち上げました。今回はその第1弾を開催致します。

その発端は、現代の作家たちによる『東洋』を基本のテーマ・コンセプトにした展覧会をしたい、何故なら「西洋的な価値観」に立ち向かうには自身のありどころを明確にし、そこから出発するしかない、と上海・外灘にあるギャラリー“AROUND SPACE”のオーナー夫妻、ジェフ・明明と意見が一致したことからでした。

まず6月に【庭園】というテーマで“AROUND SPACE”で中日の作家10人による作品展を行いました。今回はその交換展として、日本人作家3人に【愛】を広い意味で据えた作品制作を依頼し、中国で行われた展覧会への返答として展示したいと考えました。

『愛』という字は日本と中国での発音がほとんど同じで『あい』と読みます。

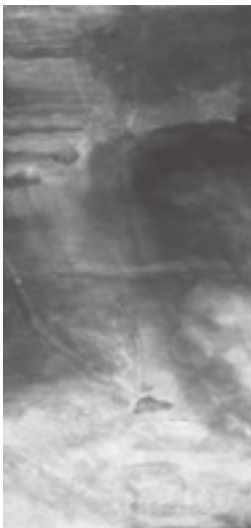
人として生まれた時から日々、何かのかたちで係わっている大切な感情ですが、習慣、環境、世代、などでそのニュアンスや表現のしかたにそれぞれで違いがあると思います。日本人作家の描く『愛』は、決して西洋の‘LOVE (ラブ)’ではなく『慈しみ』『慈愛』の意味あいだと私は受け取っています。

中国人作家の描く【庭園】と日本人作家の描く【愛】、両者のなかに根付いている東洋的なものをぜひ感じ取ってください。

ギャラリー三条祇園 主宰
梶川 強

参加作家：

ヘー・サイバン (1959～)、イエン・ジンファ (1964～)、チャイ・イーミン (1965～)、ウー・イーミン (1966～)、ディン・ベイリー (1972～)、タン・シュ (1976～)、ルー・ヤンポン (1984～)、石崎誠和 (1976～)、谷内薫 (1983～)、友寄万梨奈 (1991～)



イエン・ジンファ
34×68cm

一瞬と永遠の劇場— Elliott Erwitt展

と き／9月7日(土)～10月27日(日) 10:00AM～6:00PM
ところ／何必館・京都現代美術館(月曜休館 但し10/14は開館)
京都市東山区祇園町北側271 ☎075-525-1311

エリオット・アーウィットは世界の第一線で活躍し、85歳となった現在でもニューヨークを拠点に精力的に活動しているフォトジャーナリストです。

1928年ロシア人の両親のもとパリに生まれ、戦禍を逃れて渡ったアメリカで写真家としての活動を始めます。

若干25歳にして世界を代表する国際的写真家集団マグナムの一員となったエリオットは、結束と個性という創立者たちの原理から決して離れることなく、数々の写真を世に送り出しました。アメリカ大統領執務室にフリーパスで入る事が出来るエリオットはケネディやニクソン、フルシチョフ、カストロといったキューバ危機の張詰めた模様をはじめ、数々の歴史的な社会情勢をとらえました。

「私は職業から言えばプロの写真家だが、天職はアマチュア写真家だ」と語るエリオットは、社会的な出来事を客観的に記録するだけではなく、家族や子供、恋人、街路や犬など日常の風景も数多く撮影しています。何気ない風景の中に共存する笑いと悲しみを鮮やかに写し出し、人生という劇場の一瞬一瞬を彼の人生観や感性を持って愛情豊かに表現しています。

本展では、厳選された直筆サイン入りオリジナルプリント約60点を展覧いたします。エリオット・アーウィットの世界をこの機会に是非お楽しみください。

<http://www.kahitsukan.or.jp>

主催 財団法人 京都現代美術財団

記念出版『Elliott Erwitt写真集』 2,800円



「チェ・ゲバラ、ハヴァナ、キューバ」
1964年



「パリ、フランス」1989年

英 ゆう 個展 〈作庭〉

と き／10月5日(土)～10月26日(土) 11:00AM～7:00PM
ところ／イムラアートギャラリー(日・月・祝休)
京都市左京区丸太町通川端東 ☎075-761-7372

この度、イムラアートギャラリー京都では、英ゆう個展「作庭」を開催いたします。

英は2000年から10年ほど、タイと日本を行き来し制作を行っていました。タイの供花や伝説をモチーフに色彩豊で、濃密なマチエールの油彩画を描いていました。2010年から拠点を京都に制作しています。

今回の展覧会のタイトルは「作庭」。石の燈籠や石塔を葉と花で覆い、編み直し、もう一度風景に入れて「庭」をつくり出しています。庭には知恵や創意、自然との対話が存在し、それらは日本人の自然観に繋がっていると言えるのではないでしょうか。石燈籠や燈籠といった無機質で冷たく、神秘的でシンボリックでもある、不思議な造形のものを全く異なる素材である植物で覆うことで、特異な空気感を纏いながらも、見慣れた景色が生み出されます。

大作の油彩画を中心に、インドで制作したスケッチも展示いたします。英ゆうの独特の絵画世界を是非ご高覧ください。

展覧会初日は、アンスティチュ・フランセ関西(旧関西日仏学館)と京都市が主催する「ニューイ・ブランシュ KYOTO 2013」に合わせ、オープニングレセプション(17:00～20:00)を開催いたします。

英 ゆう 略歴

- 1973 京都府生まれ
- 1996 京都市立芸術大学美術学部美術科油画専攻卒業、ロイヤル・カレッジ・オブ・アート、ファッション・テキスタイル科(ロンドン)に交換留学
- 1998 京都市立芸術大学研究科絵画専攻油画修了
- 2002～2006 京都市立芸術大学美術学部美術科油画非常勤講師
- 2002～ 京都造形大学非常勤講師

主な個展

- 1998 「劇的画」INAXギャラリー(東京)
- 2002 「Project N10」東京オペラシティアートギャラリー(東京)
- 2005 「NO FRAME」チェンマイ大学アートギャラリー(タイ/チェンマイ)
- 2007 「FLOWER PINK STAR」イムラアートギャラリー(京都)
- 2009 「the collection of "FLOATING ILLUSION"」国際交流基金(タイ/バンコク)
- 2010 「外を入れる。」京都芸術センター 大広間(京都)
- 「森」イムラアートギャラリー(京都)
- 2011 「祖を辿る旅」INAXギャラリー2(東京)



「清水五条「匂い立つ」」
2013 194×112cm

井上 隆雄 写真集出版記念展 美しき無常—光と風のなかで—すすきの気色

と き／10月8日(火)～10月13日(日) 12:00～7:00PM

ところ／ギャラリーヒルゲート1F・2F

京都市中京区寺町通三条上ル天性寺前町 ☎075-231-3702

各地の山野を逍遙し、自然の自然（じねん）を撮り続けて20数年。それぞれの旅の途上で擦れ違い、触れ合いつつ撮ってきた私の好きな「すすき」の写真は、数千枚にもなっていた。

その無為なる気色や相（すがた）。光と風のなかで、その象（かたち）には形は無かった。

夜話市民講座Bコース

井上隆雄 「美しき無常—自然（じねん）にまみえて」

10月12日(土) 6:00～7:30PM ギャラリー1Fにて

定員40名、要申込、参加費1,000円（学生500円）茶菓付

井上隆雄略歴

1940年 滋賀県に生まれる。1965年京都市立美術大学（現・芸大）卒業。1973年より写真家として独立。主に民族芸術、仏教美術、生活などを企画撮影し、アジアを中心に海外各地に取材をする。その後、日本、京都などに撮影領域・視点を広げる。また、現在は、自然の撮影をライフワークの一つとして積極的に取り組んでいる。

主な著書、共著及び発表

「チベット密教壁画」「バガンの仏教壁画」「世界の聖域・ビルマの仏塔」「描き歌い伝えて」「日本の深層」「現代の茶会」「みちのく風土記」「土に咲く」「西国三十三ヶ所巡礼」「西明寺・金剛輪寺」「高桐院」「金地院」「寂庵」「北大路魯山人」「京 逍遙」「京都発見1～9」「色を奏でる」「壬生狂言」「茶の心」「すすき」「おのずから しからしむ」「群生海・雪の景」「光りのくにへ」「ある事実」など発表多数。

展覧会

「インド・ビルマ・チベット壁画写真展」「位相」「禅-Meditation」ニューヨーク「京都美術文化賞受賞作家展」「梅原 猛と33人のアーティスト展」「壬生狂言」「野に山に」「幻視」「水と水」「かもしれぬ」「雲があり、私があった。」「すすき」「海」「群生海・冬」「見えない何か」など

受賞等（年次順）

京都市芸術新人賞 日本写真学会賞（東陽賞） 京都美術文化賞 京都府文化賞（功労賞） 京都市文化功労者 茶道文化振興賞 大津市文化賞 滋賀県文化賞 その他

井上隆雄



女性が描いた昭和のエレガンス

と き／10月10日(火)～11月24日(日) 9:30AM～5:00PM

ところ／京都府立堂本印象美術館（祝日以外の月曜と10/15、11/5休館）

京都市北区平野上柳町26 ☎075-463-0007

近代から現代にかけて、京都では数多くの女性画家が輩出した。特に大正から昭和期には、女性や子どもをモチーフに、その時々を反映させた作品を世に送り出した女性画家の活躍が見られる。

本展では、京都ゆかりの女性画家として梶原緋佐子、広田多津、三谷十糸子、北澤映月を取り上げる。菊池契月に師事した梶原緋佐子は、同時代の女性をリアルに描いた後、独自の美人画を大成した。また西山翠嶂に学んだ広田多津は、舞妓や裸婦をテーマに女性美の本質を追求した。そして西山翠嶂門下に入り京都で画道を切り開いた三谷十糸子は詩的な人物表現を展開し、北澤映月は上村松園と土田麦僊に学んだ後、草食性と写実的な描写を調和した画風を築き上げた。

これら4人による女性ならではの繊細で叙情あふれる世界を紹介する。なお同時開催企画として、堂本印象の代表作〈春〉〈婦女〉〈或る家族〉を素描や下絵と友に展示し、制作過程の裏にある画家の試行錯誤の様子を見せる。



三谷十糸子「罎」
1951年
（京都国立近代美術館蔵）

◆講演会

「昭和を生きた女性画家」吉仲充代（京都市美術館学芸課長補佐）

10月27日(日)

午後2時から3時半

「花柳の昭和ファッション」

青木美保子（京都女子大学准教授）

11月10日(日)

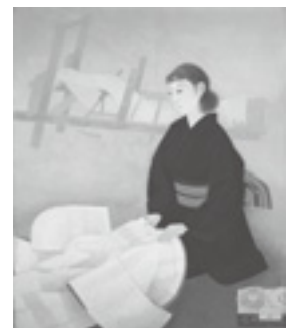
午後2時から3時半



広田多津「舞妓」1968年頃
（オムロン株式会社蔵）



梶原緋佐子「カメラ」
1953年



北澤映月「或る日の安楽さん」
1967年（京都市美術館蔵）

空想美術大賞展 関西展

と き／10月14(祝)～10/26(土) 10:30AM～6:30PM
ところ／蔵丘洞画廊(会期中無休)
京都市中京区御池通寺町東入ル ☎075-255-2232

選抜された若手芸術家をあなたの力で世に出そうー

●出品内容

35歳までの若手作家限定
50cm程度の飾り易い小作品

●協賛企業賞

賞金：受賞作品は1年間対象企業の広報
利用となります

●来場者の方へ

入場無料、誰でも参加出来る入札制
(奨励賞は入札件数で決定)

●ギャラリー関係者の方

有望作家との出逢いをお取り次ぎします

現代は若手芸術家に対し、目標となるような権威あるコンクール不在といえます。そこでせめて彼らに具体的な支援対策として表記のコンクールを企画しました。

推薦委員によりシードされた作家と一般公募で入選を果たし、選抜された小さな作品約100点です。気軽に来場の上、入札ご参加いただきたいと存じます。

奨励賞は皆様の総意が反映されます。

主 催 伊藤忠商事株式会社
株式会社蔵丘洞

協 賛 日本電産株式会社
株式会社日本アクセス

推薦人 小吹 隆文、佐々木 豊、名古屋 覚、幕内 政治、本江 邦夫、山本 冬彦

選考人 小原 稚子

後 援 協同組合美術商交友会 株式会社サン・アート『月刊美術』 株式会社美術出版社
株式会社美術年鑑社

協 力 青山学院大学総合文化政策学部文化のラボ

日下部 直起 展 ～刻の幻影～

と き／10月29日(火)～11月3日(月) 12:00～7:00PM
ところ／ギャラリーヒルゲート1F・2F
京都市中京区寺町通三条上ル ☎075-231-3702

時は決して静止することはない。滞ることのない流れの中で、モノが深い色彩を持ち、人が使い込んだ手垢や傷をしみ込ませていく。スイスの蚕の市で見つけた古い蛇腹のカメラ。骨董屋の片隅でひっそりと息を潜めていたタイプライター。フィレンツェの下町の仕立て屋さんにあったアンティークミシン。どれも永い時間の中で、道具というものから解放されて、別のモノとして存在していた。

イタリア中世の街からスイスまで取材し、静寂の中に包まれた永遠の刻を描こうとした。朽ちかけた壁や扉であったり、路地の中の影の人の気配であったりした。そうした中世の街並と古い道具、そしてアーティチョークの出会いが、ひそかな幻影として刻を静止させるような絵になればと願う。

150号の大作からSMまで、テンペラを下地とした油彩25点、水彩10点、合計35点の出品予定。ギャラリーヒルゲートでは7回目の個展となる。

日下部 直起

【略歴】

1959年 京都生まれ
1982年 金沢美術工芸大学油絵科卒
1995年 東京セントラル美術館油絵大賞展 佳作賞
1996年 昭和会展(日動画廊)(03'～06')
2004年 文化庁芸術家在外研修(フィレンツェ)
2008年 Proposte dal Giappone展(ミラノ)
日本橋三越本店他、個展多数
現在 二紀会会員



「ソーリオからの伝言」50号F
油彩・テンペラ

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
		曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木			
企	画廊後素堂	中京区新町丸太町下ル 231-0938	常設展/小川忠彦展(日祝休廊)																																	
企	画廊彩雲	宇治市折居台1-4-40 23-1468	常設展(土日祝休廊)																																	
企	画廊たづ	東山区神宮道三条西入ル 771-8225	日本画常設展																																	
貸	画廊ビーナス	三条大橋東一筋目上ル東 771-3104	着物の変身 手縫洋服 男・女	秋の花と静物												紅葉の山野(月曜休廊)												→11/3								
貸	ぎおんギャラリー八坂	東山区祇園町南側 525-1717	JEUGIAカルチャーセンター 水彩画グループ展												石仏巡礼 山本満洲男						シャポー RITSUKO帽子展 正とりつ子						洋服と アクセサリ 廣瀬光美						→11/17			
貸	ギャラリー青い風	左京区岡崎神宮道東側 752-0182	増地保男展 (洋画)	津嶋晴秋作品展 (絵画・書)												光田節子展						青砥会展 (日本画)						休廊						→11/5		
貸	ギャラリーいちかわ	下京区河原町松原上ル 351-7267	貸画廊予約受付中																																	
貸	ギャラリーM	中京区蛸薬師高倉西 221-0979	秋の旅展 ベルギー (松本祐佳)												思い出の旅展 信州・風の盆 (松本祐佳)																					
貸	ギャラリーカト	中京区寺町御池下ル 231-7813	嵐彩会			アノニム展						昭和美術会京都支部 小品展						四季彩会展						コバルト ブルーの会						→11/3						
貸	ギャラリーかもがわ	上京区堀川出水西入 432-3558	篆香楽会 作品展			宮本和郎彩墨画展(火曜休廊)												三家・ 森畑展						→11/17												
貸	ギャラリー河原町	中京区河原町二条上ル 231-6249	院展日本画常設展																																	
貸	ギャラリー祇園小舎	東山区四条通繩手東入 551-3828	横田尚子 糸展			やすらぎの時展 日本画とちぎり絵 山本信祐・東美						染めと 織り in 感風						前田はるな 作品展																		
貸	ギャラリー吉象堂	中京区三条柳馬場東 221-3955	第31回 街道展			第9回 いのぼんば展 (日本電池OB)						山形敏彦 水彩画展						同志社大学 スケッチクラブOB						グループ 万華鏡						→11/3						
貸	ギャラリー恵風	左京区丸太町東大路東入 771-1011	海野厚敬展			田原愛子展						石の花 (リトグラフ表現の古今)						柳原 剛展						田村愛展 国際交流総合展 選抜展						→11/3						
貸	ギャラリー佐野	中京区寺町蛸薬師西北角 221-2767	第9回 関西書票倶楽部展						は・は〜ん版展 (版画)						山本みつる展 (童画)						第3回 兀兀展						→11/4									
会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
		曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木			
企	ギャラリー三条祇園	中京区寺町通御池上ル 221-6401	10人の作家展 7 Chinese Airtists + 3 Japanese Airtists (月・火休廊)																																	
企	ざやらしい思文閣	東山区古門前大和大道東 761-0001	戸田浩二展												木田安彦展 (10/25～11/4 思文閣銀座にて同時開催)																		→11/4			
企	ギャラリー白川	東山安井東一筋目南 532-2616	大平和正展												ギャラリー白川の造化II風還元 「球体」(祝日以外の月曜休)												井上隆夫新作展 (月曜休)						→11/17			
貸	ギャラリー翔	左京区北山通下鴨中通東 724-8154	高田典行陶芸展 (皿・器・花器 他)			川端英一御器楽音陶展 (皿・器・花器 他)						大久保愛子 古代友禅彩色画展 (額装絵画 他)(21日休廊)												玉城和美 描き絵 空間展						→11/4						
貸	ギャラリー16	東山区三条通白川橋西入上ル 751-9238	藤原勝彦展(ビデオ インスタレーション)												中島愼一展 風景(想像の森)(平面)												「大好きトン、 カン、チン」						→11/9			
貸	ギャラリー創	中京区河原町御池上ル 251-0522	常設展(水曜休廊) 鴨居玲・熊谷守一・伊藤若冲・白隠慧鶴・曾我蕭白																																	
貸	ギャラリー象鯨	中京区姉小路柳馬場東 253-0738	常設展(貸ギャラリー受付中)																																	
貸	ギャラリー高倉通	中京区高倉姉小路下ル 221-3390	川邊一平 器展 "細う永ごうに"						岡田房子作品展 (バステル・アクリル)						Belno 個展 蒼の男						「それから」 織と陶 三人展						→11/3									
貸	ギャラリー Little House	下京区室町四条下ル 090-9977-1559	和と洋の二人展												第10回猫の宴 「ありがとう」																					
企	ギャラリー鉄齋堂	東山区新門前東山西 531-6164	常設展(近代京都画壇の軸装、額装) (6・9・18・19・28・29日休廊)																																	
貸	ギャラリー知(とも)	中京区寺町通丸太町東入ル南側 585-4160	はいからロマン 秋山淳個展			同志社大学 クラマ画会後期						めぐる(洋画) 京都造形芸大4年						松永優藍染色展																		→11/3
貸	ギャラリーなかむら	中京区姉小路河原町東 231-6632	生田丹代子展(ガラス) (月曜休廊)																																	
貸	ギャラリー中井	中京区木屋町三条上ル 211-1253	HILO KUME個展 ～楽園の夢～			創元会京都支部展						滝田揚子日本画展						京都アソシエイツ						川合秀典 陶展						→11/3						
貸	ギャラリー白梅園	北区北野上白梅町63 461-0427	白崎信子 ガラス作品 常設展																																	
貸	ギャラリーヒルゲート	中京区寺町三条上ル 231-3702	海野厚敬展「the left」			井上隆雄展(写真)						栄永大治良米寿記念展 今村花子展(油・ドローイング)						松谷慶子 -私の風景展						日下部 直起展						→11/3						
企	ギャラリー美楽堂	東山区神宮道三条上ル 761-9710	日本画常設展																																	
企	GALLERY FUKUMI SHIMURA	左京区岡崎神宮道西側 746-3303	常設展												しむらの部屋 2013秋 志村ふくみ・志村洋子																		→11/4			

会場		日曜	1火	2水	3木	4金	5土	6日	7月	8火	9水	10木	11金	12土	13日	14月	15火	16水	17木	18金	19土	20日	21月	22火	23水	24木	25金	26土	27日	28月	29火	30水	31木	
④ ④	ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F	村田彩展 (陶) (月曜休廊)										金 基煥展 (染色) (月曜休廊)										中井修展 (立体・平面)		→11/3									
		4F	THOMAS MODSCHIEDLER										高村総二郎展 (日本画)												→11/3									
		5F	田村葵展 (日本画) (月曜休廊)										美津石絃詞展 (ガラス) (月曜休廊)										井田彪展 (彫刻)		→11/3									
④	ギャラリーみすや 中京区三条河原町西入 211-5997	豊旗会					桂璋会 (日本画)					高友会					ひまわり会					糸爾林		→11/3										
④	ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348	装展・秋 (月曜休廊) 風間紀子 (オリジナルウェア)・華山恵美子 (シルクの衣) / IZOOMI (フェルトのカバン・マフラー・セーター)										常設展										蘇弘子 ジュエリー展		→11/3										
④	ギャラリー洛中洛外 山科区清水焼団地内 595-5450	陶芸作品常設展示										清水焼の 郷まつり					陶芸作品常設展示																	
④	ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700	「龍馬と酢屋」常設展 (水曜休廊)																																
④	ギャラリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110	常設展 (水曜休廊)										桐村茜版画展 (水曜休廊)																						
④	ギャラリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321	ジェラル・サンドレイの〈率直な創造〉 1:00PM~7:00PM (月曜休)										常設展																						
④	ギャラリー百音 (もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138	天田毅 青白磁陶芸展 & アンティーク西洋美術展 (9・21・28日休廊)																																
④	ギャリエ ヤマシタ 中京区寺町三条上ル 231-6505	1号館	1F	水墨画書道同 好会展			墨翠会水墨画 展			京都日曜画家協会					土筆の会展 (日本画)					ジョイ展 (油絵・色えんぴつ)					松味利郎絵画 展		→11/3							
			2F	生きているよるこびり人展 (吉川泰史・尾崎真美子)			雅堂会秋の作品展 (木版画)					金曜会木版画展					「京都の中業Ⅱ」松山均 (写真)					池村もこ 刺子教室展		→11/3										
		2号館	1F	清水久義パステル画展			松川博山展 (PART5)					西岡信子展 (日本画・人形)					第12回いわくら病院作品展					京都神仏具工 業協同組合展		→11/3										
			2F	信楽作陶の会展			京都大学美術部新人展					中野功絵画展 (水彩画)					山下社展 - 写真と絵画 -					かもしか会 日本画展		→11/3										
④	京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435	貸ギャラリー受付中																																
④	京都東急ホテルギャラリーkazahana 下京区堀川通五条下ル 341-2646	鈴木靖 晴嵐展											池田博子写真展 -北アフリカ~京都																					
④	京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	常設展示 (水・木曜休廊)										宮里絵美展 (会期中無休) 女流陶五人展 (会期中無休)					常設展示 (水・木曜休廊)																	
④	京都万華鏡ミュージアムアートスペース 中京区姉小路東洞院東入 254-7902	京都漫画家協会 イラスト展示					保事協フォトクラブ写真 展					桑原専應流 竹内申中 桑原車中 いけばな展					「京都四九八 九」百八景										→11/10							
④	京町家ギャラリー桂風 下京区仏光寺高倉東 361-4146																																	
会場		日曜	1火	2水	3木	4金	5土	6日	7月	8火	9水	10木	11金	12土	13日	14月	15火	16水	17木	18金	19土	20日	21月	22火	23水	24木	25金	26土	27日	28月	29火	30水	31木	
④	京都芸大ギャラリーアーク 中京区御池通堀川東入 334-2204	犬と歩行視 pt.2																															→11/17	
④	COHJU contemporary art 中京区丸太町寺町西 256-4707	1F	常設展示 (日・月休廊)																															
④	堺 町 画 廊 中京区堺町御池下ル 213-3636	容れるかたち展 (陶)					休廊					ライ 原 岳	親子のあそび展					猫がいる日常 大黒浩子展					與倉玲 個展		→11/4									
④	里見有清堂 中京区堺町三条上ル 221-5423	貸画廊受付中																																
④	蔵丘洞画廊 中京区御池寺町東入 255-2232	常設展					蔵丘洞ノ棚コーナー (日祝休廊)					空想美術大賞展 (会期中無休)										常設展 蔵丘洞ノ棚コーナー					→11/12							
④	大 雅 堂 東大路通福園上ル 541-7388	常設展					e・g・g・o 0036 大井梓 展 (会期中無休)										常設展 (コンセプトアルリズムアート) (日祝休廊)																	
④	梅 軒 画 廊 中京区烏丸四条上ル 221-3510	日本画・洋画常設展 (日・祝休廊)																																
④	ボルタギャラリー華 下京区京町駅前地下街 365-7533	世界の万華鏡展 秋の新作大集合										面屋庄甫人形グループ展										中整暢人・朗子 木工裁金展		→11/10										
④	星 野 画 廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670	画家たちの 富士山					休廊					明治・大正・昭和 名作発掘品展																						
④	松本松栄堂 中京区寺町夷川上ル 212-0626	新古書画展示即売 (16日・月末休廊)																																
④	MAEDAHIROMI ART GALLERY 中京区河原町二条上ル 741-8757	常設展																																
④	まるごのギャラリー 中京区姉小路寺町東入 744-0105	謝敷ゆり 銅版画展 (水曜休廊)										貸ギャラリー予約受付中																						
④	村 田 画 廊 左京区松ヶ崎泉川町18-4 703-8960	常設展 (火祝休廊)																																
④	ヤマモトギャラリー 中京区姉小路寺町東入 231-2341	樋上千哲展 ろう染め -いきているものかたち-					京都絵画サークル展										10人10色 展					→11/3												
④	龍 枝 堂 画 廊 中京区寺町二条上ル 252-4120	休廊中																																

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内 (☎222-0895)
 [京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中] 1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊 (☎771-3670) まで振込用紙をご請求ください。
<http://www.kyoto-art.net/>